

ティーチング・ポートフォリオ

1. 教育の責任

2023年度の担当科目一覧表

科目区分 (教養/専門/教職)	科目名	種別 (必修/選択)	開講時期	受講者数
専門	カリキュラム論	選択	後期	32名
専門	保育実習指導1	選択	前期	32名
専門	保育実習指導2	選択	後期	32名
専門	保育実習指導3	選択	前期	40名
専門	保育基礎1	必修	前期	32名
専門	保育基礎2	必修	後期	32名
専門	ゼミナール1	必修	前期	6名
専門	ゼミナール2	必修	後期	6名
専門	保育所実習1	選択	前期	32名
専門	保育所実習2	選択	後期	32名
専門	保育教職実践演習	選択	後期	40名
専門	子育て支援	選択	前期	40名

*科目区分：「教養」、「専門」、「教職」の3つから指定すること。

*種別：「必修」、「選択」の2つから指定すること。なお、選択必修は「選択」とする。

2. 教育の理念

「保育現場で必要とされる知識・技術を持つ保育者の育成」「誰からも愛され、信頼される保育者の育成」「子どもの最善の利益を追求していく姿勢を持った保育者の育成」を目指すことを教育の理念としています。

3. 教育の方法

- ・保育現場における実践力を身につけるために、現場のニーズをもとに学生自身が主体的に考え、行動できるようなアプローチを行っている
- ・保育者として、社会人として必要とされる教養や一般常識、マナーや協調性等を身につけるためグループワーク等を活用し、自ら考え判断できる力を養うことができるような指導を行なっている
- ・何事においても振り返りの時間を設け、自身の課題を明確にしながる気づきや思考を深めていけるような指導を行なっている
- ・実習という学びの形態の中で保育者として必要となる知識・技術・態度について理解を深め、他教科での学びを統合することができるようアプローチを行なっている
- ・授業後には課題を設け、自宅学習での復習とまとめを行うことができるように指導を行っている

4. 教育の成果

- ・実習科目に関しては振り返りを通して個々の課題を明確にし、就職に向けて行動の変容を図るためのアプローチを行うことができた
- ・グループワークを繰り返す中で他者との協調性や発信力が養われ、柔軟な思考も身についたのではと思われる
- ・実習を通して保育者の仕事を理解し、自身の働く姿を明確にイメージすることができるようになった
- ・授業後の課題とそのフィードバックを通して学生の学びを一層深めることができたと思われる

5. 今後の目標

- ・より個々の課題や能力に応じたサポートを拡大させていきたい。全体で行う部分とより個別化する部分との見極めを行なった上で、一人一人の成長を更にサポートしていけるような授業を展開していけるようにしていきたい
- ・実習に向けた学生の不安感や緊張感を軽減していくための取り組みを促進させていきたい。具体的には地域の幼児教育施設との連携を深め、学生が子どもたちと直に関わる機会を創出するなどの取り組みも検討していきたい
- ・深く考えるための思考力を身につけるための効果的なグループディスカッションや、情報機器を活用し学生がより意欲的に学ぶための授業を展開していきたい

6. 根拠資料（準備しておく）

- シラバス
- 授業資料
- 授業評価アンケート結果
- 授業改善計画書
- その他（学生による振り返り資料）